

# いっぱん質問

行政の刷新を問う



**赤間 幸弘 議員**

交通網整備について 11P

**藤 伸一 議員**

行財政改革について 12P

**佐藤 道彦 議員**

農業の活性化について 13P

**宮原 由光 議員**

入札の状況について 14P

**岩永 利勝 議員**

小中学校登下校時の  
防犯体制について 15P

**豊 一馬 議員**

入札制度改革について 16P

**田淵千恵子 議員**

児童・生徒の安心安全施策及び織田  
廣喜美術館の活性化について 17P

**嶋田 尋美 議員**

市内小中学校の教育問題、教員の配置について 11P

**田上 孝樹 議員**

妊産婦にやさしい環境づくりについて 12P

**田中 日本明 議員**

行政遂行責任について 13P

**中村 春夫 議員**

産業廃棄物処分場の現状について 14P

**大谷 清人 議員**

小学校統合に関する審議会、行政的な整合性は 15P

**荒木 紘子 議員**

嘉麻市の食と農の取り組みとCO<sub>2</sub>対策について 16P

紙面の都合により、いっぱん質問の内容を730字以内でまとめています。

# いっぱん質問

**赤間幸弘 議員**

交通網整備について

**問. 嘉穂総合高校までの生徒の交通手段確保はどうするのか**

**答. 市バス路線を変更して早急に対応したい**



赤間議員(山田)

**質** 桂川町に移転開校される嘉穂総合高校へ通学する生徒の交通手段確保については、過去に何度か質問したが、この時期になっても周知等が行われていない。  
西鉄バスとの協議はどうなっているのか。  
**松本総務課長** 1年程前から協議を行い、特に嘉穂・山田方面からの直行便の計画をお願いしていたが、3月6

日、最終的に本社からのゴーサインが出なかったとの報告があった。  
**質** 西鉄バスが参入しないということは、路線以外から通学する生徒たちの交通手段が無くなることになると思うが、行政としてどう対処するのか。  
**総務課長** 市バスを乗り入れる場合、一番の問題は路線バス会社との競合であるが、西鉄バスが参入しないという報告があった際に、市バスの乗り入れについての了解をもらっている。

あとは、地域公共交通会議の了解が得られれば、現在、山田から桂川駅方面に市バスを運行しているの、新高校の正門前にバス停を設置し、市バス路線の変更も行い、乗降の許可をもらいたいと考えている。  
通常半年から1年程度で市バス路線の見直しを行っているが、今回は早急に地域公共交通会議を開き、運輸支局に登録変更の手続

きを行ないたい。  
**質** 4月から生徒たちは通学するが、住民に対する周知はどうするのか。  
**総務課長** まず、早急に登録変更の手続きを行いたい。



総合高校行き市バス

通学の方法を検討する期間も必要なので、なるべく早い時期に周知していきたい。  
**松岡市長** 住民にとって一番利便性のあるバス運行を実施したいが、法令等の絡みもあるのが非常に困難である。  
しかし、西鉄バスが参入しないという状況なので、桂川駅行きの市バス路線を変更して嘉穂総合高校前で降りできないか、早急に検討したい。

**嶋田尋美 議員**

市内小中学校の教育問題、教員の配置について

**問. 教員の資質の向上、不登校児童・生徒の指導方法の取り組みは**

**答. 教育委員会を補佐しながら、今後教育向上のため鋭意取り組む**



嶋田議員(碓井)

**質** 市内小中学校で、長期間休職している教員の人数と、この長期休職者に対する代替教員の状況は。  
**中村学校教育課長** 休職者は8名で、そのうちメンタル的な疾患による者が6名、育児休業者が2名であり、代替として常勤の講師が8名配置されている。  
**質** 市内小中学校における不登校児童・生徒の現状は。

**学校教育課長** 小学校で13名、中学校で55名である。  
**質** 何らかの理由で不登校になっていると思うが、学校としてどのように取り組み、対応、指導しているのか。  
**学校教育課長** 担任及び生徒指導の先生による電話連絡、家庭訪問等を行っている。  
対策としては、個別指導方式を取り入れ、学校復帰に向けて取り組んでいる。  
教育委員会として、学校復帰を目指す目的で適応指導教室を開設しており、現在、12名が通っている。  
**質** 児童・生徒の不登校については、家庭環境や友達関係、特に先生との信頼関係など全体的な欠如が要因ではないかと考える。  
教員の資質向上に向けた研修などは実施されているのか。  
**秋吉教育部次長** 新規

採用研修や5年、10年といった勤続年数に応じた定期的な研修が実施されている。  
**山崎教育長** 現場で何が起きているのか、学校長や教頭を通じて情報を収集しながら、適切な教員の資質向上に努めていきたい。  
**質** 学校に行きたくても行けないというもどかしさ、心の病との格闘をして、もがき苦しんでいる児童・生徒を一日でも早く学校に行けるように、教育委員会、議会も一緒に考えている。  
**松岡市長** 教育委員会を補佐しながら、本市の教育向上のために、鋭意取り組んでいきたいと考えている。





藤議員(稲築)

## 藤 伸一 議員

行政改革について

### 問. 行政・議会・市民と一体の心の改革が重要と思うが

答. 人はまちづくり・まちづくりは人づくりの信念で取り組む

料の中で、低所得者等に対する減免措置等を考えていきたい。

質 国が導入予定の地方活性化策である「ふるさと納税制度」を活用してはどうか。

廣方企画財政部長

ふるさとだけでなく、自らの意思で寄付する自治体を選択できる制度であり、積極的に幅広く嘉麻市の情報発信を行っていきたい。

質 子育て世代の定住促進のための施策は。

企画調整課長補佐

働く場所の確保や住宅税制等の政策により、子育て世代層を増やす必要性がある。

市長 定住化政策は非常に重要であり、優遇措置等を検討していきたい。

質 合併して2年が経過しているが、副市長として、市長をサポートし、本市の発展や根幹となる行政改革に向け、どのような取り組みを行ったか。

田中副市長 常に、公

松岡市長 介護保険

質 非課税世帯や生活保護世帯に対する敬老祝金に代わる対応策は。

古川高齢者介護課長 約100件を超える問い合わせがあり、相当数の苦情も寄せられている。

平・公正を基本に、市長の掲げるマニフェスト実現や、特に行政改革など職員一丸となって取り組んできた。

質 この2年間の副市長の業務遂行に対する評価、また、先般の損害賠償訴訟の賠償金支払いの取り扱いは。

市長 瑕疵なく今日を迎えられたのも、副市長の力によるところが非常に大きいと考えている。

副市長は、判決に従い、即時2月8日に賠償金を支払われている。

質 ハード面だけではなく、行政・議会・市民と一体となった心の改革が重要と思うが。



田上議員(山田)

## 田上孝樹 議員

妊産婦にやさしい環境づくりについて

### 問. マタニティマークの活用について

答. 検討して取り組みたい

などは、公共交通機関を利用して移動する時に不便さを感じたり、近くで煙草を吸われたり、また、つわりの症状がある場合もある。

このように周囲から理解が得られにくいという声が多いことから、ひと目で妊婦だとわかるよう、全国共通のマークが決められた。

このマークを本市でも活用してはどうか。

大塚健康課長

近年、高齢やストレスを抱える妊婦が増加傾向にあるとともに、母胎や胎児の健康を確保することとは、子育て支援の観点からも、非常に重要な問題である。

妊婦に対しては、理解ある地域環境や職場環境の実現が必要になると考えられており、そのためには、マタニティマークの導入は、非常に効果的な取り組みである。

質 マタニティマークを妊産婦の方以外にも知ってもらうために、

ポスターやリーフレットが作成されている。各庁舎や公共施設、さらには病院や企業などの協力を得て、周知してはどうか。

健康課長 母子健康手帳配付時や市内中学校などに配付しており、今後引き続き広報啓発に努めたい。

質 マタニティマークのキーホルダーやバッジ、マグネットシートなどの製品を母子健康手帳配付時に無料で配布してはどうか。

松岡市長 妊婦については、妊婦健診を2回無料から5回無料に拡充したことで、大変よかったです喜ばれている。

妊娠初期は大切な時期でもあるので、前向きに検討して取り組みたい。



# いっぱい質問

**質** バイオ燃料向け需要増と重なり、世界の穀物相場が2〜3倍に跳ね上がるとともに、中国の食料問題の影響も受け、国内の食料品価格は一斉に値上げされている状況である。日本の食料自給率が39%という中で、高齢化とともに荒廃していく山間地域、限界集落的な地域を行政としてどう対応していくのか。

**佐藤道彦 議員**  
農業の活性化について  
**問. 特産品開発で山間地の活性化を**



佐藤議員(嘉穂)

**答. 地域ブランド化を図り、嘉麻市の魅力を高めたい**

**松岡市長** ブランド品開発の必要性は十分認識している。今後、どんなものが本市のブランド品として将来展望があるか、十分吟味し対応していきたい。

また、農産物のブランド化を図ること、本市の魅力を高めるとともに、活性化も図ることができると。市民と行政が一体化すれば、本市の産業力が培われ、地域経済などの活性化

**原田農政課長** 一つの方策として、県の補助事業等を活用し、山間地で農業体験などを推進しながら、都市との交流を図っていきたい。

**質** 鳥獣被害の少ない作物を原料とした加工食品を開発し、本市のブランド品として販売することで、荒廃していく山間地農業の活性化を図ってはどうか。

**農政課長** 特産品の開発については、地域に埋もれている農産物を再発見し、商品価値のあるものに再生できれば、地域の活性化につながると思う。



嘉穂地区農地

**松岡市長** 他に、企業誘致については、意見を述べるとどまる。

につながると思う。現在、関係各課にその推進を図るように指示している。

**質** 農業を取り巻く環境はますます厳しくなり、市の財政も厳しい時こそ、国・県の補助事業を大いに活用するべきと思う。多くの補助事業がある中、十分精査して積極的に取り組んでもらいたい。

**農政課長** 県事業では100%補助対象となる事業もあるが、通常は市が事業費の一部負担を求められるため、事業に関係する農家、財政当局と協議しながら推進していきたい。



田中議員(碓井)

**田中 日本明 議員**  
行政遂行責任について  
**問. 職権乱用で、個人の責任の判決が下った副市長の処遇はどうするのか**

**答. 任命責任を問われていると思っていない。引き続き副市長をしてもらう**

**市長** 指摘のとおり。平成18年6月の助役選任の際に、旧碓井町における損害賠償請求事件に対して、市長

**質** あなた方の言うことが正しければ、裁判でも認められたと思うが、なぜ職権乱用の判決が下されたのか。損害賠償金の支払いが済んだら、職権乱用はなくなるのか。

**市長** 判決が出ているのでなくなる。任命責任が問われているが。

**市長** 昨年6月、助役に就任してから、何の

**質** 市長の行政遂行とはいかなるものか。

**松岡市長** 市民の福祉の増進である。

**質** 市民が損害を被るような執行権の行使は絶対にしてはならないと考えるが。

**市長** 県警の都合であったと思う。

**質** 本当に告発の対象になるのであれば、上嘉穂警察署、県警がなぜ受け付けなかったのか。

**市長** 入札疑惑の解明を徹底的に行うためであり、個人的にしたものではない。

**質** 副市長の進退は、本人が判断することと思うが。

**田中副市長** 不正の糾明、再発防止のために行ったことで、一方的に私が何か悪いことをしたと判断してもらっては困る。

**要望** 日本の司法で出された結果は、真摯に受けとめるべきと思う。また、二度と市民を苦しめるような行政執行がされないよう願う。



瑕疵もなく、市の活性化に努力されている。大方の市民は説明すれば理解してもらえる。

**質** 弁護士への成功報酬は関連費用であり、副市長に支払い義務が生じると思うが。

**市長** 今は公的対応をしているが、弁護士と相談して、取り扱いを検討している。



宮原議員(山田)

## 宮原由光 議員

入札の状況について

### 問. 入札に関わる副市長の裁判結果の対応について

答. 入札疑惑究明を正義のため行動したので、辞表を撤回する

質 副市長の裁判の経緯を正確に説明してもらいたい。

松岡市長 市民団体等の間違った情報を記載し市民に配布しているので、市民に真実を伝えたい。

当時の入札結果や状況等から判断すると執行部の官製談合と言われても仕方がない。執行部は圧力に屈し、当時の町長は「部下

や自分の身の安全のために仕方なく応じた」とコメントしている。副市長は正義に燃え行動を起こし、町長選に立候補して当選した。

入札問題では議会の厳しい追求、弁護士からの判断、職員の情報等から総合的に判断し行動したもので、私利私欲ではない。原告の訴えは「選挙の意趣返し」と言っているが、そのようなことは無い。

質 この裁判では談合疑惑のある業者を指名から外し、外された業者は「選挙に対する意趣返し」で訴えた。今般は官製談合が大きな問題、一番悪い。

副市長は当事者であり、最も詳しいので説明してもらいたい。

田中副市長 当時刑事から「最低制限価格に千円違いで落札、1件だけではない」と指摘があり、調査の結果、千円違い2件、同額2

件が判明。住民の不信を払拭するため、談合疑惑業者を指名から外した。この裁判の基は不正の解明からである。

これは当時、議員全員賛成、住民の強い要望があった。

指名停止は、談合疑惑の業者を資格審査委員会で訴訟を起こした1社だけ指名から外したことが現実。

最終決裁権者の責任は私であるから、判決は真摯に受けとめて対応してきた。

### そのほか3点を質問

各庁舎の管理費が約6千万円かかるので閉鎖すること。消防団の定数は現場の必要人数を算定し決定すること。企業誘致は産業道路の確保と雇用を考え、地元企業の宣伝と近隣企業の求人情報を広報等で知らせること。



## 中村春夫 議員

産業廃棄物処分場の現状について

### 問. 現状と今後の対策は

答. 地域住民の不安を早く解消できるように取り組んでいきたい

質 山田地区の産業廃棄物処分場の現状は、松本環境課長 百々谷

については、1月25日の履行期限を過ぎた今も許可容量を超えた産業廃棄物がほとんど撤去されてないため、県監視指導課に対し、業者への指導強化と合わせて、早急に地域住民への説明会を開催するよう申し入れ



中村議員(山田)

ている。

熊ヶ畑の産業廃棄物処分場については、県から提出された本年2月までの搬入状況報告書を確認したが、特段問題はない状況である。

ただし、搬入量はかなり多くなっていると予測されるが、19年度の総搬入量は6月以降でないと把握できない。

田中副市長 熊ヶ畑の不法投棄、ごみ問題については、約20回の住民との三者協議を重ねているが、旧筑穂町における県

に対しての産業廃棄物撤去義務付けを求める住民訴訟判決が住民敗訴となった結果から見ても、厳しい状況であると思われる。

住民との協議の中では、全面撤去ということが一番望ましいが、現状でできることから取り組んでいきたいと提案している。

### 高齢者福祉問題について

質 市内の老人ホーム等の増設の許可は容易

にできないのか。

### 古川高齢者介護課長

本市では、平成17年度に策定した介護保険事業計画において、3年間でどの程度の施設が必要であるかの見込みを立てており、安易に増床すると、サービスは充実するが、介護保険料に影響するため、簡単に増床を推進できないのが現状である。

20年度に介護保険事業計画を見直す予定であるので、介護保険料とのバランスも考えながら、施設整備計画を策定したい。

この他、償却資産税についても質問しました。



# いっぱい質問

**中村学校教育課長**  
 教育委員会が情報を受けたら、各学校に通報し、教師が巡回する等の体制をとっている。  
**質** 1月10日から2月29日までの約50日間に、筑豊事務所管内で26

## 岩永利勝 議員

小中学校登下校時の防犯体制について

### 問. 不審者情報の連絡をメールで配信できないか

**答. 20年度試行的にやってみる**



岩永議員(稲築)

件の不審者情報が報告されている。

また、最近ではインターネットの掲示板で福岡県内の小学生の被害予告などの書き込みがあったが、その時の対応は。

**学校教育課長** 3月3日に教育事務所から連絡を受け、各小中学校へ児童・生徒の安全確保について注意喚起のファックスを送った。

学校側ではホームルーム等で下校時の指導、欠席児童・生徒の状況確認、教師による巡回などの対応を行った。

**質** 今回のような緊急事案が発生した場合は、教師だけでは人数が少なく、対応に大変苦慮したと聞いており、また、保護者からも早く情報が欲しいとの要望もあつている。

2年前の一般質問で、児童に携わっている各団体に情報を早く伝えることで、犯罪を未然に防ぐための対応策を検討するよう投げか

けていたが、いまだ回答がないままである。

飯塚市の若菜小学校では、不審者情報をメールで配信する「どこでも安心メール」という取り組みがされているが、本市でも取り組んでいるかどうか。

**学校教育課長** 学校から不審者等の情報が一斉に配信され、保護者等は携帯電話で情報を受け取り、すぐに対応することができるといふことができるといふことなので、本市の大きな施策として今後実施していきたい。

**松岡市長** 経費的にも安価な取り組みであり、本市の将来ある子どもたちの安全を守るため、教育委員会も20年度に試行的に取り組みたいことなので、本市の大きな施策として今後実施していきたい。



## 大谷清人 議員

小学校統合に関する審議会、行政的な整合性は

### 問. 前審議会と今審議会の行政の整合性は

**答. 旧嘉穂の答申を尊重しつつ、さらなる審議会設置**



大谷議員(嘉穂)

**質** 嘉穂地区の小学校の児童数の実態と複式学級の現状は。  
**秋吉教育部次長** 嘉穂地区の6小学校全体の児童数は、平成19年度442人から、5年後の平成25年度には364人が見込まれる。

その他はいずれも複式学級となる予定である。  
**質** 小学校統合に関する審議会は旧嘉穂町の時からあるが、現在の審議会とはメンバーが異なっている。その行政的な整合性についてはどう考えるのか。  
**教育部次長** 平成17年5月に旧嘉穂町の文教施設総合計画審議会から答申が提出されているが、昨年10月に小学校統合の審議会を改めて設置している。

また、複式学級の導入状況は、大隈・牛隈小学校は6学級が維持できる見込みであるが、  
**質** 基本的に旧嘉穂町の審議会方針を尊重するという前提の上で現在の審議会が進行していると判断してよいか。

**教育部次長** 基本的には、旧嘉穂町でさまざまな議論を経て出された結論については尊重していきたい。  
 地域やPTAの代表の方からの意見を聞き、よりよい形で統合を進めていきたい。

**質** 学力の低下が叫ばれている。複式学級になると学校としては教職員の配置など教育条件が悪くなり、児童の学力低下につながる。  
 総合的に考えれば統合が必要ではないか。  
**山崎教育部長** 子どもたちの将来を考え、いろんな角度から審議をされているので、答申を尊重し方針を示したい。

**松岡市長** 教育委員会が十分な審議を待つて結論を出されると思う。  
 私も嘉穂地区の小学校の統廃合は進めていくべきと考えている。





豊議員(山田)

## 豊 一馬 議員

入札制度改革について

### 問. 入札制度改革による成果は!!

答. 経費の節減4300万円達成!!

ど大きく制度改革へ第一歩を踏み出した。その結果について、指名競争入札と改革後の条件付き一般競争入札の比較、予定価格に対する平均落札率の変化についてはいかがか。

**管財課長** 平成18年度の入札執行状況については、建設工事予定価格合計8億432万9319円に対し、契約額7億6442万7500円、平均落札率95.04%となっている。

入札制度改革後の平成19年度では、予定価格合計5億3376万7710円に対し、契約金額4億6254万519円、落札率86.65%で約8ポイント下回っている。

**質** 入札制度改革による財政面への貢献度はいくらになったのか。

経費の節減額は。

**管財課長** 建設工事費で約4300万円の経費節減となった。



**質** 入札改革は、第一段階で4300万円の成功を収めた。

しかし、これにとどまることなく、一般競争入札の適用範囲の拡大をいつそう図る必要がある。

平成20年度予算では、建設事業費、災害復旧費、物件費など各種契約額は約28億円に達している。

これらすべてにわたり透明性・競争性の高い一般競争入札の導入を図り、経費節減の行政改革効果をあげるべきである。

**松岡市長** 今、入札改革を進めているところである。

ご指摘の点については、十分対応していく考えである。

## 荒木 紘子 議員

嘉麻市の食と農の取り組みとCO2対策について

### 問. 地元農産物を工夫・研究して、地産地消の推進を

答. 学校給食に、地元の旬の食材を計画的に提供している



荒木議員(稲築)

**質** 本市の食物生産量及び休耕田の面積は。

**原田農政課長** 作付面積と粗生産額は、水稻が1160ヘクタールで13億1千万円、麦が120ヘクタールで6千万円、大豆が87ヘクタールで3千万円、トマトや馬鈴薯等の野菜類は6億5千万円、梨やぶどう等の果実類は2億6千万円である。19年の休耕田面積

は659ヘクタール。**質** 市内の地産所の利用と販売状況は。

**農政課長** カッホー馬古堀は出荷者392人、利用者35万1577人、売上4億1821万6千円。道の駅うすいは出荷者279人、利用者29万8540人、売上3億3832万9千円。山田活性化センターは出荷者102人、利用者1万6368人、売上1332万9千円。

**質** 市内小中学校給食の食材は、冷凍食品や輸入食材等に頼らず、地元食材を提供している。

**農政課長** 各直売所より旬の食材を計画的に納入し、食の文化やありがたみを学ぶ機会を設けている。

**質** 女性農業従事者と食進会の活用状況は。

**農政課長** 市食料・農業・農村政策審議会に、農業関係者3名、食進会1名の女性委員を登用している。今後、基本計画を策定する中で、女性企業家も計画に織り込んでいきたい。

**質** 市有林管理状況と成木の売却は。

**山本農林整備課長** 市有林は主に杉とヒノキを植栽しており、樹齢5年から80年に生育している。

採算性を考え、50年以上の樹木から伐採して売却している。**質** 伐採後の対策は、CO2対策にもなるのではないか。

**農林整備課長** 間伐した樹木の間には、広葉樹等も植栽したい。

**松岡市長** 森林環境税の活用も含め、前向きに検討していきたい。

**要望** 記念樹基金など市民への協力方法もあるので、県内で食料自給率・森林環境ナンバーワンのまちづくりを目指してもらいたい。



道の駅うすい

# いっぱん質問

**学校教育課長** 通学路の確定は学校長の判断に委ねられており、

**質** 通学路の実態把握と安全指導は。

**中村学校教育課長** 児童・生徒が通常の経路及び方法により通学する場合は、学校管理下であり、当然、安全対策の配慮がある。

**質** 児童・生徒の登下校時の安心安全対策は。

**田淵 千恵子 議員**  
児童・生徒の安心安全施策及び織田廣喜美術館の活性化について  
**問. 児童・生徒の安心安全の登下校に関わる行政について**  
**答. 安心安全な通学路の確保に努力する**



田淵議員(嘉穂)

**質** 特に、クラブ活動等で帰宅時間が遅い中学生の通学路の暗さに

りたい。

**意見** 市全体の通学路を見て回って著しく気になる箇所、志耕館高校・稲築中学校付近の歩道の不備や、大型トラックの往来が激しい通学路を改善してもらいたい。

**中並土木課長** 旧嘉穂町時代からの懸念であり、道路拡幅の件で地権者から同意が得られなかった経緯があるが、歩道整備の必要性は十分認識している。

**質** 自転車通学を許可されている通学路の実態で、最も危険性の高い嘉穂中学校周辺の歩道を改善できないか。

**質** 織田廣喜美術館の入館者の推移は。

**福田文化課長** 嘉麻市になったから増えたという傾向はない。

**質** 今までに入館者が多かったイベントは。

**文化課長** 平成10年度に実施した中島潔展は、38日間で1万649人の入館者があった。

**要望** 今後、企画展等の計画段階での市民参画の手立て、児童・生徒の美術館見学の教育課程への位置づけ、さらには美術館を広くアピールすることによって、多くの方が訪れる魅力ある美術館となるように取り組んでもらいたい。

**松本総務課長** 通学路に必要であれば、市の責任として設置すべきであると考えている。

**織田廣喜美術館の活性化について**

**織田廣喜美術館の活性化について**

**織田廣喜美術館の活性化について**

**織田廣喜美術館の活性化について**

危険性を感じる。街路灯の設置を要望する。



梶原雄一副委員長



森 丈夫委員長



宮原委員



平井委員



藤 委員



田淵委員



佐藤委員



大里委員



北富委員



中村委員



浦田委員



吉永委員



大谷委員

## 設置目的

現在計画が進められている国道322号バイパスは、本市にとって地域間の交流や産業の発展に重要な役割を果たす道

路であることから、広域的なまちづくりを実現するために、本路線の整備に関する必要な調査・研究を行います。

## 委員会の構成

委員会は、議長を除く13人の委員で構成し、委員長には、森 丈夫委員が、副委員長には、梶原雄一委員が選出されました。

# 国道322号バイパス整備に関する

# 調査特別委員会を設置